

活動実施報告書(令和4年度)

名称: 社会福祉法人 錦ヶ丘保育園

所在地: 吉野 町 2223-6 番地
丁目 番 号

電話番号: 099-243-7706 E-mail: staff1@tonohara.org

代表者: 園長 廣田 恭平 担当: 市来 優里亜

6月 ・夏野菜を育てる。 ・田植え(無農薬・合鴨農法)

取組内容

- ・夏野菜の苗を植え、意欲的に水やりを行ったり成長に気付いたりする。
- ・「橋口農園」にて田植え体験を行う。

取組結果・感想等

- ・どんな野菜の苗を植えようか、子ども達と話し合っ決め、保育者声かけのもと、率先して水やりを行い、大きさや数・色の変化に興味を持っていた。
- ・全身を使って泥の感触を楽しみ、田植え体験をすることができていた。

活動の様子(写真等)



9月 ・さんまの丸焼き

取組内容

・園庭でさんまや秋の食材を焼き、五感を使って行事に参加する。

取組結果・感想等

・子ども達に焼く食材を事前に伝え、初めて食べる食材にも興味を持っていた。焼く時に匂いを感じたり、煙が目に入る痛さを感じたりしていた。

活動の様子(写真等)



1月 ・鬼火だき

取組内容

・鬼火炊きをし、火の暖かさやパチパチと燃える音、煙の様子に気付く。

取組結果・感想等

・無病息災を祈願し、鬼火だきに参加。事前に動画を見て、鬼火だきの様子や由来について知ることができた。また、煙が空に上がっていくことに気付き、じっくりと見る姿があった。

活動の様子(写真等)



2月・食(命)への感謝。自分が食べられる量を食べ、残飯を減らす。

取組内容

- ・給食で使用する野菜の下準備を手伝ったり、食事を楽しいと思える活動を行う。
- ・保育者の声かけの下、おかわりの量の調節や自分の食べられる量を把握できるようにする。

取組結果・感想等

- ・ぐりとぐらのカステラや11ぴきのねこのコロッケなど、絵本に出てくるメニューを給食メニューに取り入れ、興味を持っていた。
- ・おかわりを自分で注ぐ中で、少しずつ量の調節ができるようになった。

活動の様子(写真等)



1年間取り組んだ感想・ご意見

錦ヶ丘保育園では日々の遊びの中で、環境について考えたり自然に触れたりする機会が多く取り入れられている。こども達が園庭に落ちている葉一つから遊びを展開いく様は保育園では日常茶飯事だ。その中で、少しでも保育者の問いかけを行った。その結果、より子ども自身が自ら深く考え行動に移すことができた。今後は職員がSDGsや野菜の育て方などの知識を増やし、更に充実した活動にしたい。